

あすぴあ登録団体の紹介

こんな活動をしています

vol.
19

登録団体の中で取材を希望する団体は
あすぴあまでお知らせください。
広報部会の部員が伺います！

こだいら平和コンサート・合唱団どれみ

「子どもたちに核兵器も原発もない地球を」をテーマに開かれるこだいら平和コンサート。主催は23年間続けてきた、こだいら平和コンサート・美術展実行委員会です。

「こういう深刻な歌は声の出し方もチェロを弾くように少しずつ大きくして」「プレスは息の捨て方が大事。うまく捨てると歌声が力強くなっていく」指揮者の山内廣文さんのゆっくり丁寧な指導の後、ピアノの伴奏に乗せて、また歌が始まる。中央公民館の視聴覚室に集まった合唱団団員30人程。アルト、ソプラノ、テノール、バスのパートがそれぞれの個性を消して新たに大きな一つの音を作っていくための作業が続く。

歌は「死んだ男の残したものは」。谷川俊太郎の歌詞が心に響く。「指揮の山内先生はご自身もテノールの歌手なので、実際に歌ってくださるのがとても分かりやすくて。勘でできるのは耳のいい若い人。だからちゃんと楽譜を読んで、テンポをとって、と辛口の指導を忍耐強くしてくださいます」。

団員は毎年3月の募集で集まる。今年は約50人を束ねる団長の堀川郁子さんは、3代目になる指揮の山内さんをこう紹介します。合唱団は、9月30日の平和コンサートを終えると解散になるそうですが、音楽で結ばれた仲間たちが、その後も合唱を続けています。

「うちの合唱団の特徴は、大人と子どもの混成だということです。小学生から高齢者まで、たくさんの方がタクトを頼りに一つの音になった瞬間は、いつでもソクソクっとします」と、堀川さんは合唱の魅力をうっとりと言います。

歌が好きな人、来年はこの達成感を味わってみませんか。（笹尾）



△ コンサートの様子

DATA

活動日●月4～5回程度
活動場所●中央公民館、東部市民センター、第六小学校
会員数●約50人（毎年3月に募集）
連絡先●042-344-4575（堀川）

災害ボランティア 未来

東日本大震災被災地の子どもたちが未来に夢が持てるように被災地の支援活動をしている峯岸さん、内野さん、野田さんにお聞きました。

大震災から6年半が経ち、泥や瓦礫などを撤去する力仕事はほぼ一段落すると、復興支援の人たちから、その後の支援活動について意見が出され、「災害ボランティア 未来」のみなさんは「心のケアや未来ある子どもたちへの支援」を決めたとのこと。

毎年夏に、宮城県石巻市で開催されている「ポテチ祭り*」で、昼食に「小平うどん」を作り、支援



△ 石巻市でうどんづくり

4年前の春から花壇づくりも支援しています。これは、中学生になった子どもたちが「震災の復興に自分たちは何ができるのか」という課題を与えられ、通学路と小学校が寂しく見えることから「つながる花壇を作って綺麗にしたい」ということになり、花壇づくりを支援することになったのです。「つながる」には「心の通う、未来に希望が持てる」という意味があるというお話でした。

さらに毎年のクリスマスには、石巻の子どもたち80人に「クリスマス・プレゼント」を贈っています。昔、駄菓子屋さんで買い物をしたうれしかった頃を思い出しながら、会員が、お菓子、風船や怪獣消しゴムなどのおもちゃ、鉛筆や三角定規などの文房具などを選び、「がんばっぺ石巻」の文字と共に「今年もいろいろなことがありましたが、よく頑張りましたね」「今は楽しいクリスマス、みんなと楽しもうね」のメッセージも添えました。

また東北復興の後方支援として、小平市民まつりに「東北の特産品販売」を支援する活動もしている



△ 子どもが集まるコスモスの家の前で（石巻市）

DATA

連絡先●ynoda1005@yahoo.co.jp

終活を考える会 小平

最近、テレビ、新聞、書籍などで話題になり注目され、気になる「終活」という言葉。代表の加藤さんにどのような活動をしているのか、お聞きました。

行政書士の加藤史郎さんは、成年後見制度、遺産相続などで困っている多くの高齢者から相談を受けるようになり、終活についてもっと知らせる活動をしようと思い、2013年に行政書士の友人と3人で「終活を考える会」を立ち上げました。

一般的に、終活とは、人生の終わりまでの準備、最後まで自分らしく生きていくための活動などと言われ、漠然としています。団体の勉強会では全5回シリーズで「エンディングノート活用法、身仕舞



△ セミナーの様子

の終活、デジタル遺品について、お金と介護、お墓と葬儀の終活、成年後見制度、遺言と相続」などについて毎月1回、学んでいます。エンディングノートに書き入れて完成させることは、とても大変な作業なので、記入しやすいように工夫されたエンディングシートを使っているそうです。加藤さんは、「高齢者は、インターネットで情報を取り入れることに苦労をしたり、世間の情報が多すぎて迷ったりして困っています。そういう人に気軽に相談や質問をして欲しい」と言っていました。

そのほか、セミナーなども開催して地域の人たちを支援しています。そして、小金井市で同様な活動をしている団体ともつながって広域的に活動を始めたそうです。（安食）

DATA

活動日●毎月第1金曜日
活動場所●小平市天神町地域センター、あすぴあ会議室（セミナー）など
会員数●17人
連絡先●050-5837-7593（加藤史郎）
f.katoon@gmail.com
会員●行政書士 5名